

土浦協同病院血液浄化センターにおける 新型コロナウイルス感染予防対策

茨城県厚生連 総合病院土浦協同病院
臨床工学部¹⁾ 看護部²⁾ 腎臓内科³⁾

○黒須唯之¹⁾ 柳瀬洋一¹⁾ 細川正浩¹⁾
青柳愛²⁾ 八代恵美²⁾ 國分美千子²⁾
戸田孝之³⁾



目的

新型コロナウイルス感染症に対する感染予防対策を策定する。

方法

血液浄化センター実務者会議を開催し、入室方法、待合室、治療エリア、患者教育、更衣室、環境整備について対策を検討した。

結果

入室方法・待合室

一般外来患者との接触を避けるため、透析患者専用出入口とした。(図1) 出入口での体温測定と身体症状や行動歴の問診(図2)を実施し、スクリーニングを行った。(図3) スクリーニングで問題があった場合は車中待機とし、必要時医師の問診後、入室することとした。

待合室での三密対策として、入室時間の10分前に透析患者専用エレベータで待合室へ入り(図4,5)、ソファは間隔を開けて座り(図6)、定期的に換気を行った。

また、手指消毒用アルコールを増設した。(図7)



図1. 透析患者専用出入口



図2. 体温測定・問診の様子

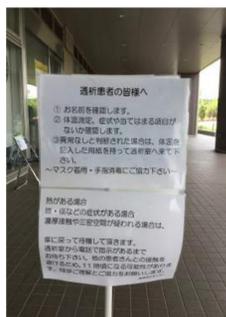


図3. 案内板①入室前



図4. 案内板②エレベータ前



図5. 待合室の掲示



図6. 待合室の様子



図7. 出入口の手指消毒

治療エリア

外来患者と入院患者の接触を避けるため、入退室経路や体重測定場所、治療エリアを分けた。(図8) また、行動歴等から、感染リスクのある患者はコホート管理とし、ベッド配置を工夫することで飛沫感染防止対策を行った。(図9,10,11) 自覚症状(発熱・上気道症状など)が出現した場合は、院内共通のリスクレベル分類に基づいて、治療ベッドの選択(図12)、入室時間、入室経路、個人用防護具(PPE)の変更を行った。

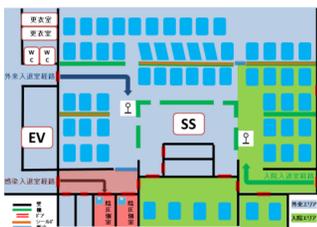


図8. エリア図



図9. 飛沫防止対策



図10. パーテーション隔離



図11. カーテン隔離



図12. 陰圧個室

患者教育・更衣室・環境整備

患者説明用の用紙を作成し、マスク着用の徹底、手指衛生の重要性、自宅での過ごし方、体調不良時の連絡について患者教育を行った。

更衣室利用時は清掃と記名を患者さんに協力頂いた。(図13)

環境整備は、1患者毎にベッドサイドや機器を清拭し、待合室や更衣室も1クール毎に清掃することを徹底した。



図13. 更衣室記名板

まとめ

院内感染管理室の指導の下、スタッフや患者の協力を得ることで感染予防対策を強化することができた。今後も情勢を見極めながら対応する必要がある。

COI

茨城人工透析談話会
COI開示
筆頭発表者名: 黒須唯之

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。